

# V-Lowマルチメディア放送とは

リアルタイム型放送だけでなく蓄積型放送により、映像・音声・データの様々な情報を柔軟に組み合わせて送信する地域向けの放送サービス

## デジタルラジオ (音声)

- ・ ラジオをクリアな音声で提供



## 地域情報・災害情報 (映像・音声)

- ・ 詳細な地域情報、輻輳のない放送の特性を活かした迅速な災害情報の提供



## 交通情報 (映像・音声)

- ・ 詳細な道路・交通情報・周辺地域情報の提供
- ・ 災害時のドライバーへの情報提供

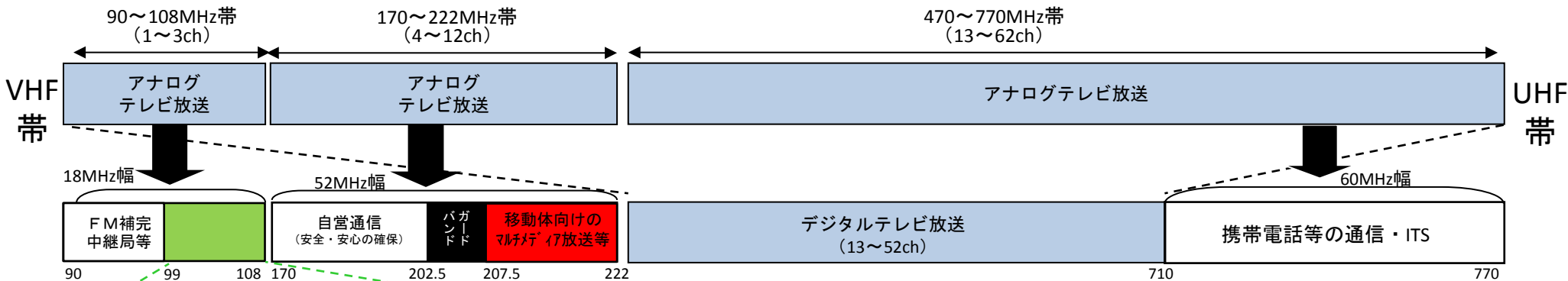


## 電子チラシ・サイネージ等 (映像)

- ・ タブレット等への電子チラシやバス内・街中等にあるサイネージへの情報等を提供



## ○ 地上テレビジョン放送のデジタル化完了後の空き周波数の一部を利用



V-Lowマルチメディア放送(99MHz～108MHz)

# V-Lowマルチメディア放送のサービスイメージ

V-Lowマルチメディア放送は、携帯端末や車載型の受信機で、移動しながらでも情報入手できる「携帯性・移動性」と、不特定多数に対して同時に情報を提供することができる「放送」という機能を有する新たなメディアである。また、公共向けのデジタルサイネージへの利用も可能である。全国7つの地方ブロックを対象とし、地域密着の生活情報や安心安全情報等を放送する。

## リアルタイム型放送

■ 全ての視聴者が同時に受信設備において視聴することができる形態の放送



## 蓄積型放送

■ 受信者があらかじめ受信設備に蓄積させておくことにより、蓄積後の任意の時間に視聴することができる形態の放送



※映像、音響、データ等の様々な情報を組み合わせて放送することが可能。

# 受信端末及びサービスイメージ ((株)VIPの申請書(H26.7認定)より作成)

## 【主な受信端末と普及見込み】



スマホ／タブレット  
(5年間で983万台)  
(コヴィア)



Wi-Fiチューナー  
(5年間で69万台)  
※7年間で100万台無償配布  
(日本アンテナ)  
※月1万台の量産体制  
を確保。



車載器  
(5年間で70万台)  
(JVCケンウッド)  
※2016年モデルの発売  
を目標に協議中。



簡易端末  
(加賀ハイテック)



デジタル  
サイネージ  
(レシップ)  
※V-Low受信対応の  
端末を開発済み。

## 【サービスイメージ】

### チャンネルV (Vehicle)

- ・ 5.1chサラウンド音楽
- ・ 道路交通情報、SA・PAその他地域情報



### チャンネルLo (Logistics)

- ・ 音声+各種データ(リアルタイム型、蓄積型)
- ・ 高音質音楽(ハイレゾ)

ストリーミング  
放送番組



- 番組と連動した  
地域CM
- 番組連動コンテンツ  
(番組情報、楽曲情報、  
天気予報 等)
- 聴取者からの投稿
- 地域からのお知らせ  
(学校や行政)



- [蓄積型サービス]
- ・ ショートムービー
  - ・ 電子チラシ 等

# 安心・安全情報サービスイメージ

○ 緊急時に、自治体等から要請のある地域の防災・安全情報を優先して放送する。受信機では、地域の防災・安全情報を受信したことを、光や音、文字等で知らせるもの。

